

マニフェスト大賞（市民）書類審査用応募内容

応募者名記載欄
団体名：特定非営利活動法人 自治創造コンソーシアム 「ローカル・マニフェスト評価研究委員会」 代表者名：理事長 田中義政 委員長：廣瀬克哉（法政大学法学部教授） 担当者名：事務局長 井上良一 電話番号：03-3553-6313 Email：info@jichi.org
取組内容
タイトル：首長マニフェストの評価・作成にかかる技術開発及び評価実践・教育・普及活動の総合的展開 大会等開催時期：2004年 9月 2007年 4月 概要： 【評価技術開発・実践】首長マニフェストの評価に関して市民の視点から技術開発を行い、マニフェストの「出来栄えの評価」「進捗評価」「マニフェスト・サイクルの評価」の手法を開発した。公募市民の参加を得て、知事及び市長のマニフェスト評価を毎年延べ4回実践した。さらには、「（選挙時の）事前評価」を試行的に実施した。 【教育・研修】評価研究委員会を毎年開催。作成方法に関するワークショップを4回にわたり開催してきた。 【普及】マニフェスト・サイクルを実現するための「評価手法」「作成手法」などの技術開発に努めてきた。
マニフェストを推進するための努力 （マニフェスト推進のために、行政・政治家・住民に対し行われたそれ間伝意なかった改革・工夫など）
【技術開発】マニフェスト・サイクルを実現するための「評価手法」「作成手法」などの技術開発に努めてきた。 【実践・教育】市民・議員・候補予定者等に対して、その技術を「実践」し、「教育・研修」する機会を提供してきた。 【マニフェスト改善支援】評価対象とした首長に対しては評価結果をフィードバックし、マニフェスト・サイクルの徹底やマニフェストの改善のための提言・支援を行ってきた。 【LM運動の下支え】技術面に加え神奈川LMネットワーク事務局や日韓交流事務局として運動を支えてきた。
活動内容について （独自のアイデア・情報公開等）
【市民的視点からの評価】評価基準に「市民参加度」「情報公開度」を盛り込み、マニフェストの作成・実現・評価における市民参加を重視、強調してきた。首長等のマニフェスト評価支援の際にも、市民の立場を重視した。 【マニフェスト・サイクルの有効性実証】マニフェストの「評価⇒改善」というサイクルが有効に機能することを松沢知事のマニフェストの評価において実証したことは、学術的にも実践的にも価値が高い研究と自負できる。 【選挙時の事前評価への挑戦】有権者の判断に資するため「マニフェスト事前評価」に試行的に取り組んだ。
市民参加について （取組のプロセス、また大会などにおける市民参加状況など）
【市民公募による評価】評価には全国から公募による延べ41名の市民・議員・候補予定者・自治体職員等が参加した。マニフェスト評価技術を実践的に習得し、それぞれの立場で生かしていただいている。 【作成ワークショップの実地活用】マニフェストの作成ワークショップやフォーラムへの参加者は延べ370名を超え、マニフェスト作成・評価技術を実践的に身に付け、選挙時に実地で活用された受講者も少なくない。 【市民による評価の支援】評価技術の支援は「市民自身によるマニフェスト評価」に対する支援を重視してきた。

[応募用紙のFAX送信先・お問い合わせ先]：03-5292-4385

[メールでのご応募・ご連絡]：info@local-manifesto.jp

マニフェスト大賞審査委員会事務局 〒162-0045 東京都新宿区馬場下町5-1